

第302回 日本体育大学長距離競技会

【出場結果】

実施日 : 12月3日(土) 10000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 小林 航央

出場種目・出場者・リザルト

氏名	小林
種目	10000m
組	4組目
タイム	29'26"81
順位	25/25

【レポート】

前週の日本体育大学長距離競技会 5000m で 13 分 52 秒台の自己ベストの更新をした小林が、今回は同競技会の 10000m に出場しました。

小林は昨年度に 10000m で 28 分台の自己ベストをマークしていますが、今回は当社の偉大な OB である田嶋健司さんが、1978 年にマークした 28 分 45 秒 60 の新電元記録の更新を狙ってレースに臨みました。



10000m の自己ベスト更新&新電元記録の更新を狙う小林

出場したレースが強豪選手の揃う最終組だけあって、序盤から 1000m を 2 分 45 秒程のハイペースでレースは進み、小林も序盤から記録を狙って意識的に集団の流れに乗って走りました。

3000m を 8 分 29 秒台、5000m を 14 分 19 秒台で通過、目標とする 28 分 45 秒を切るには理想的なペースでレースを進めましたが、5000m 以降は集団から離れ、単独走になると、1000m のラップが 3 分を超えてしまい、その時点で自己ベストの更新は厳しくなったものの、最後まで粘り強く走り切り 29 分 26 秒台でのゴールとなりました。



5000m 以降は苦しい走りになったが、最後まで力走する小林

【総 評】

当社陸上部の OB である田嶋健司さんの偉大な新電元記録更新を狙って走りましたが、結果として 5000m 以降にペースを落としてしまい、記録の更新には至りませんでした。

シューズの進化や選手のレベルアップが進む中で、44 年間の長きにわたり新電元記録として残る田嶋健司さんの記録には、あらためて敬意の念を抱きます。

現役選手としては、この記録を更新することが、これまで長きに亘り当社陸上部の歴史を築いてきた先輩方への一番の恩返しになると考えますので、小林以外の選手も積極的に記録の更新にチャレンジして新しい陸上部の歴史を切り開いていって欲しいと思います。

今後とも皆様の温かいご声援をお願い致します。